

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	小牧市			代表者名	山下史守朗
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	市長公室行政改革課	連絡先電話番号	0568-76-1113
担当者役職	専門員	担当者氏名	吉田健太郎	連絡先E-mail	
住所	485-8650 愛知県小牧市堀の内三丁目1番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	地域デジタル化推進事業		
概要	①市内高校生を対象にしたデジタル勉強会の実施 ②「地域DXの新たな担い手育成」を目指し、市内の高校生が講師役を担うデジタル相談会の実施				
支援を求める分野	デジタルデバインド対策				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年10月19日	講演(実地)	9時30分	15時00分	50
			活動時間(分)	280	
2-2. 派遣場所	会場名	小牧市中央図書館		最寄駅	小牧駅
	所在地	小牧市中央1丁目234		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	浦田 真由
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none">・県立小牧高等学校の生徒や名古屋大学の学生を適切にサポートいただき、相談者に寄り添う形でデジタル相談会を開催することができた。・デジタル体験会において、Apple Vision Proやeスポーツなど最新のデジタル機器に触れることができるブースを出展いただけた。参加者にも好評でデジタルに関する興味、関心を向上させることができた。
アドバイザーへの要望事項	次年度も引き続きよろしくお願い致します。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	78人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	6	52	2	18

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	<ul style="list-style-type: none">・近年、身の回りの様々なサービスがスマホ一つで完結するようになっている。しかし、高齢者等の中には、スマホ操作に不慣れな方も一定数存在しており、情報格差(デジタルデバインド)を是正する必要がある。・「地域DXの新たな担い手育成」のため、市内の高校生を巻き込みスマホ教室等において講師や受講者のサポートを行う体制を整える必要がある。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	<ul style="list-style-type: none">・高校生がデジタル勉強会において講師役を経験することで、高校生にもデジタルデバインド解消に向け自分たちでも貢献できることがあるということを知ってもらおう。・市が名古屋大学と毎年実施しているデジタル相談会を体験し、市が実施するデジタルデバインド対策を学ぶ。・デジタル体験会で、最新のデジタル機器に触れることで、デジタルに関する興味・関心を向上させる。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ・相談ブースに講師を務める高校生を1名、その隣にサポート役の大学生を1名配置し、高齢者のスマホやパソコン等の悩み解消に努めていただいた。 ・デジタル体験会において、Apple Vision Proやeスポーツなど最新のデジタル機器に触れることができるブースを出展していただいた。 	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者のスマホやパソコン操作に係る相談・悩みを解消することができた。スマホの操作性を実感してもらえた。 ・高校生にとっても、デジタル相談会での経験を通して、高齢者が実際にどのようなことで困っているのかを知る良い機会となった。 ・デジタル体験会において、相談会の参加者だけでなく幅広い年代の市民に参加いただきことができ、デジタルに関する興味、関心を向上させることができた。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	<input type="checkbox"/> ⑦その他 開催したデジタル相談会・勉強会の様子をまとめましたのでご覧ください。 https://www.youtube.com/watch?v=F3zjZGvVvMM
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添のとおり	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	<input type="checkbox"/> ②次年度に予算化を図り推進する
4-4. 事業の最終的な目指す姿	年齢や性別、スマホを持っている・持っていないに関わらず、誰もがデジタルの利便性を実感し、すべての人がデジタルの恩恵を受けられる状態を目指す	
5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		
<input type="checkbox"/> 掲載許可	<input type="checkbox"/> 〇掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
<p>なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</p>		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

